

●話題書・自然科学（動物） ご担当者さま

クマ被害が深刻な今、クマと人間は いかに関係を築いていくべきか？

◎クマ関連書を集めてのご展開はいかがでしょうか◎

【クマ関連書】『クマとともに』（東京大学出版会）、『クマはなぜ人里に出てきたか』（旬報社）、『ツキノワグマのすべて』（文一総合出版）、『にっぽんのクマ』（カンゼン）、『熊になったわたし』（紀伊國屋書店）、『クマにあったらどうするか』（ちくま文庫） ほか

白水社のクマ関連書

熊

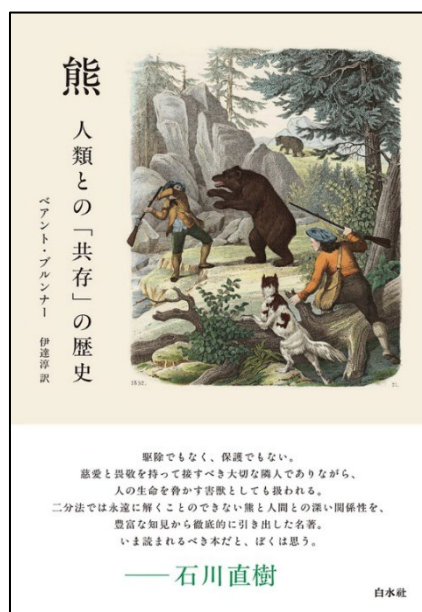
人類との「共存」の歴史 [新版]

ベアント・ブルンナー 著 伊達 淳 訳

有史以来、熊と人は、他の動物とは異なる特別な関係を結んできた。その興味尽きない歴史を辿りながら、「共生」への道を探る。

駆除でもなく、保護でもない。慈愛と畏敬を持って接すべき大切な隣人でありながら、人の生命を脅かす害獣としても扱われる。二分法では永遠に解くことのできない熊と人間との深い関係性を、豊富な知見から徹底的に引き出した名著。いま読まれるべき本だと、ぼくは思う。

石川直樹



9784560025840

貴店印	希望数	ISBN978-4-560-	書名	本体価格
		02584-0	熊 人類との「共存」の歴史 [新版]	2,500 円
ご担当	様			

(株)白水社 営業部 TEL 03-3291-7811
FAX 03-3291-8448 (備考 2-97)